

剣道称号「教士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟
(公社)福岡県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 剣道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過(令和元年11月30日以前に取得)した者。
- (2) (公社)福岡県剣道連盟開催の「称号認定講習会」を受講した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の受審申請書(自筆、顔写真貼付、パソコン不可)と小論文(封印のまま)を添えて、所属の地域剣道連盟へ送付する。
- (2) 年齢基準は審査当日(11月23日)とする。

3. 申込締切 所属の地域剣道連盟が定めた期日

4. 申込先 所属の地域剣道連盟

※(公社)福岡県剣道連盟へ直接申込をしないこと。

5. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。

6. 審査方法

この度、コロナウィルス感染拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、下記の通り課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

(1) 剣道の課題 「剣道指導者としてのあり方」

※再受審者についても上記課題の小論文提出といたします。

- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙(市販のB4縦書き)
- (4) 書き方 用紙1～3行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。
必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。
原稿用紙の右上をホッチキスで止めること。

(5) 提出方法 封筒長 3 を使用し、表に「剣道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したものを所属の地域剣道連盟へ提出すること。

7. 審査会期日 令和 3 年 11 月 23 日 (火)

8. 審査料 全剣連審査料 1 名につき、21,400 円 (消費税含む) + 所属の地域剣道連盟手数料
振込先は、所属の地域剣道連盟の指示に従うこと。
※ (公社) 福岡県剣道連盟の口座へ直接振込をしないこと。

9. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和 4 年 1 月号および全剣連ホームページ (<http://www.kendo.or.jp/>) に合格者の氏名を掲載する。

10. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報 (登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等) は全日本剣道連盟および地方代表団体 (各都道府県剣道連盟) が実施する本審査会運営のために利用する。

なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体 (掲示用紙、ホームページ、剣窓等) に公表することがある。

更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

※ 剣道称号審査における「小論文提出」の免除について

「全剣連社会体育指導者資格 (上級)」認定者は、剣道称号「教士」の小論文提出を免除する。

剣道称号「錬士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟
（公社）福岡県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 剣道六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和2年11月30日以前に取得）した者。
- (2) 剣道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成23年11月30日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。
- (3) （公社）福岡県剣道連盟開催の「称号認定講習会」を受講した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）を添え、所属の地域剣道連盟に提出する。
- (2) 年齢基準は、審査当日（11月23日）とする。

3. 小論文の内容

- ① 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道修業について述べなさい。
- ② 字数 400字以上800字以内。
- ③ 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- ④ 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したもの。

4. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。なお規則第11条第2項の特例による推薦は特に厳選する。

5. 審査の方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

6. 申込締切 所属の地域剣道連盟が定めた期日
7. 申込先 所属の地域剣道連盟
※（公社）福岡県剣道連盟へ直接申込をしないこと。
8. 審査会期日 令和3年11月23日（火）
9. 審査料 全剣連審査料1名につき、18,000円（消費税含む）+ 所属の地域剣連手数料
振込先は、所属の地域剣道連盟の指示に従うこと。
※（公社）福岡県剣道連盟の口座へ、直接振込をしないこと。
10. 合格発表
審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和4年1月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。
11. 個人情報保護法への対応
申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が実施する本審査会運営のために利用する。
なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。
更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

※「錬士」特例受審の場合は、本人用と錬士候補推薦書2枚提出のこと。

※ 剣道称号審査における「錬士小論文提出」の免除について

「全剣連社会体育指導者資格（中級）」認定者は、剣道称号「錬士」の小論文提出を免除する。

居合道称号「教士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟
(公社) 福岡県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 居合道錬士七段受有者で、七段受有後 2 年以上を経過（令和元年 11 月 30 日以前に取得）した者。
- (2) (公社) 福岡県剣道連盟居合道部開催の称号認定講習会を受講した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書（自筆、顔写真貼付、パソコン不可）を居合道部に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（11 月 23 日）とする。

3. 申込締切 (公社) 福岡県剣道連盟 居合道部が定めた期日

4. 申込先 (公社) 福岡県剣道連盟 居合道部

※ (公社) 福岡県剣道連盟へ直接申込をしないこと。

5. 審査方法

この度、コロナウィルス感染拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、下記の通り課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 居合道の課題 「称号（教士）としての指導への取り組みについて」
※再受審者についても上記課題の小論文提出といたします。
- (2) 字数 800 字以上 1,200 字以内
- (3) 用紙 400 字詰め原稿用紙（市販の B4 縦書き）
- (4) 書き方 用紙 1～3 行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、4 行目 2 段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。
原稿用紙の右上をホッチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長 3 を使用し、表に「居合道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したものを居合道部へ提出すること

6. 審査料 全剣連審査料1名につき、 21,400円（消費税含む）+居合道部手数料
※（公社）福岡県剣道連盟へ直接振込をしないこと。

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和4年1月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、居合道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

居合道称号「錬士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟
(公社) 福岡県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 居合道六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和2年11月30日以前に取得）した者。
- (2) 居合道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成23年11月30日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。
- (3) (公社) 福岡県剣道連盟 居合道部開催の「称号認定講習会」を受講した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）を添え、所属の居合道部に提出する。
- (2) 年齢基準は、審査当日（11月23日）とする。

3. 小論文の内容

- ① 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえであなたの居合道修業について述べなさい。
- ② 字数 400字以上800字以内。
- ③ 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- ④ 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「居合道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したもの。

4. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。なお規則第11条第2項の特例による推薦は特に厳選する。

5. 審査の方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、居合道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

6. 申込締切 (公社) 福岡県剣道連盟 居合道部が定めた期日

7. 申込先 (公社) 福岡県剣道連盟 居合道部

※ (公社) 福岡県剣道連盟へ直接申込をしないこと。

8. 審査会期日 令和3年11月23日(火)

9. 審査料

全剣連審査料1名につき、18,000円(消費税含む) + 居合道部手数料
振込先は、杖道部の指示に従うこと。

※ (公社) 福岡県剣道連盟へ直接振込をしないこと。

10. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和4年1月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

11. 個人情報保護法への対応

※ 以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は全日本剣道連盟および地方代表団体(各都道府県剣道連盟)が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。更に、居合道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

※ 「錬士」特例受審の場合は、本人用と錬士候補推薦書2枚提出のこと。

杖道称号「教士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟
（公社）福岡県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 杖道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和元年11月30日以前に取得）した者。
- (2) （公社）福岡県剣道連盟杖道部開催の称号認定講習会を受講した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書（自筆、顔写真貼付、パソコン不可）を杖道部に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（11月23日）とする。

3. 申込締切 （公社）福岡県剣道連盟 杖道部が定めた期日

4. 申込先 （公社）福岡県剣道連盟 杖道部

5. 審査方法

この度、コロナウイルス感染拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、下記の通り課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 杖道の課題 「称号（教士）としての指導と今後の杖道普及への具体的な取り組み」
※再受審者についても上記課題の小論文提出といたします。
- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）
- (4) 書き方 用紙1～3行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。
原稿用紙の右上をホッチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長3を使用し、表に「杖道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したものを杖道部へ提出すること

6. 審査料 全剣連審査料1名につき、 21,400円（消費税含む）+ 杖道部手数料
※（公社）福岡県剣道連盟へ直接振込をしないこと。

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和4年1月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、杖道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

杖道称号「錬士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟
(公社) 福岡県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 杖道六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和2年11月30日以前に取得）した者。
- (2) 杖道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成23年11月30日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。
- (3) (公社) 福岡県剣道連盟 杖道部開催の「称号認定講習会」を受講した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）を添え、所属の杖道部に提出する。
- (2) 年齢基準は、審査当日（11月23日）とする。

3. 小論文の内容

- ① 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの杖道修業について述べなさい。
- ② 字数 400字以上800字以内。
- ③ 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- ④ 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「杖道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したもの。

4. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。なお規則第11条第2項の特例による推薦は特に厳選する。

5. 審査の方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、杖道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

6. 申込締切 (公社) 福岡県剣道連盟 杖道部が定めた期日

7. 申込先 (公社) 福岡県剣道連盟 杖道部
※ (公社) 福岡県剣道連盟へ直接申込をしないこと。

8. 審査会期日 令和3年11月23日(火)

9. 審査料
全剣連審査料1名につき、18,000円(消費税含む)+杖道部手数料
振込先は、杖道部の指示に従うこと。
※ (公社) 福岡県剣道連盟へ直接振込をしないこと。

10. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和4年1月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

11. 個人情報保護法への対応

※ 以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は全日本剣道連盟および地方代表団体(各都道府県剣道連盟)が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。更に、杖道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

※ 「錬士」特例受審の場合は、本人用と錬士候補推薦書2枚提出のこと。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号
令和 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

X

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は

上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟)

福岡県剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
剣道教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

印
(旧姓)

(旧姓)

2 生年月日

年	月	日	生	年齢 満	歳
---	---	---	---	------	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称号	錬士	段位	段
年月日	年月日	年月日	年月日
登録県名	登録県名	登録県名	登録県名

取得年月日

登録県名

5 全剣連番号

顔写真を貼って
から提出し
てください
(3 cm × 4 cm)

6 住所

7 電話番号

	携帯番号
--	------

8 職業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成 令和	年	月	認定
----------	---	---	----

※上級認定者のみ記入

[剣 歴]※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号

令和 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

錬士 受審申請書 (本人用)

*該当するものに○印をする。

(申請都道府県剣道連盟) 福岡県剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
剣道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ		フリガナ
1 受審者氏名	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	印	(旧姓)
2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満 歳
3 性別	男 ・ 女	
4 取得称号・段位	段 位	段
取得年月日	年 月 日	
登録県名	登録県名	
5 全剣連番号	<input type="text"/>	
6 住所	<input type="text"/>	
7 電話番号	<input type="text"/>	携帯番号 <input type="text"/>
8 職業	<input type="text"/>	
9 全剣連社会体育 中級認定年月	平成 年 月 日 認定	
*認定者のみ記入		

特例錬士

1. 剣道
 2. 居合道
 3. 杖道
- *該当するものに○印をする。

錬士 受審申請書 (本人用)

(申請都道府県剣道連盟)

福岡県剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第2項(五段受有者)]に基づき、剣道錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ	フリガナ			
1 受審者氏名	<table border="1"><tr><td>印</td><td>(旧姓)</td></tr></table>	印	(旧姓)	
印	(旧姓)			
2 生年月日	<table border="1"><tr><td>年 月 日生</td><td>年齢満 歳</td></tr></table>	年 月 日生	年齢満 歳	
年 月 日生	年齢満 歳			
3 性別	男 ・ 女			
4 取得段位	<table border="1"><tr><td>段位</td><td>五段</td></tr></table>	段位	五段	
段位	五段			
取得年月日	<table border="1"><tr><td>年 月 日</td></tr></table>	年 月 日		
年 月 日				
登録県名	<table border="1"><tr><td>登録県名</td></tr></table>	登録県名		
登録県名				
5 全剣連番号	<table border="1"><tr><td></td></tr></table>			
6 住所	<table border="1"><tr><td>〒</td></tr></table>	〒		
〒				
7 電話番号	<table border="1"><tr><td></td><td>携帯番号</td><td></td></tr></table>		携帯番号	
	携帯番号			
8 職業	<table border="1"><tr><td></td></tr></table>			
9 賞罰の有無	<table border="1"><tr><td></td></tr></table>			
10 全剣連社会体育 中級認定年月 *認定者のみ記入	<table border="1"><tr><td>平成 年 月 日認定 令和</td></tr></table>	平成 年 月 日認定 令和		
平成 年 月 日認定 令和				